

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和元年11月8日（金）13:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、御案内の時間ですので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をさせていただきます。

まず、2番の審査会合、会見などのうち、1ページ目、11月12日火曜日、(3) 第796回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは議題が2つ入っております。

1つ目は、中国電力・島根原子力発電所2号機の設置変更許可に関しまして、耐震B、Cクラスの機器について、耐震設計方針に関する説明を受けるほか、もう一つ、原子炉停止時の重大事故対策の有効性評価についても説明を受けるものです。

もう一つの議題が、東北電力・女川原子力発電所2号機の設置変更許可に関しまして、11月6日に補正申請があったことから、その内容を確認するものです。

1ページおめくりいただきまして、次は11月14日木曜日、(6) 第12回実用発電用原子炉施設の廃止措置計画に係る審査会合、こちらは議題が2つございます。

議題の1つ目は、東北電力・女川原子力発電所1号機の廃止措置計画の認可に関しまして、9月19日に会合がありまして、その際にも申請の概要を受けましたが、今回も申請の概要につきまして、続いて説明を受けるものです。

議題の2、こちらは九州電力・玄海原子力発電所2号機の廃止措置計画の認可、また、1号機の廃止措置計画の変更認可に関しまして、これも10月17日の会合で申請内容の説明を受けておりますが、引き続き申請の内容の説明を事業者から受けるものです。

続きまして、(7) 第2回福島第一原子力発電所廃炉・事故調査に係る連絡・調整会議、こちらは金子長官官房審議官の対応となります。こちらは、10月18日に事故分析に係る検討会が開催されましたが、その際に整理された当面の調査・分析項目をこの連絡・調整会議に参加する資源エネルギー庁などと共有するものです。

続きまして、(8) 第9回核燃料施設等の廃止措置計画に係る審査会合、こちらは、先週11月1日の定例ブリーフィングで内容を御説明しまして、今週6日に14時から開催予定でしたけれども、原子力規制委員会の時間が変更となったため、14日に時間がずれたものです。議題の内容につきましては、先週、私が御説明したものと同一となります。

続きまして、1ページおめくりいただきまして、3ページ「3. 委員の現地調査について」。

(1) 北海道電力株式会社泊発電所3号炉の新規制基準適合性審査に係る現地調査、こちらは石渡委員がF-1断層の活動性評価に関する追加の調査場所や、その近くの露頭などを調査するものです。昨日の会合で説明を受けた内容を現地で確認するという趣旨です。

「4.その他」、(2) 島根県知事等の来訪、こちらは11月12日、15時45分からとなります。対応は荻野長官となります。原子力規制庁関係の令和2年度の予算編成に係る島根県の重点要望のために、島根県知事と県議会議長が来庁されるものです。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。御質問ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—